

(2) 中野区土地開発公社について

佐野：「区と公社の協定では、公社が取得した保有地は、区が5年以内を買取ることになっているが、5年以上の土地、及び10年以上の土地が存在している。平成24年度においては、公社の保有総額が148億1200万円と膨大な金額になっている。また、区がこれまで支払ってきた利子も相当な額になる。5年未満の土地についても、5年を待たずに当初の購入目的を実現すべく早急に対応すべきだ」

区：「土地の先行取得のためにも公社は必要だ。借入金を減らし、利率を下げるなどして、計画を着実に実行して行く」

佐野：「財政の健全化に向けた取り組みが必要だ。区民に分りやすい財政の明確化が必要だ」

区：「公社の借金は区の隠れ借金でもある。十分注意して、区民に分りやすい形であるようにして行きたい」

(3) 中野区のごみ収集とその徹底について

佐野：「ごみの分別が徹底されず、ここ数年、ごみ量の減少率が鈍化している。今後の区としての施策は」

区：「ペットボトル回収のポイント制度など資源ごみ回収に取り組む」

佐野：「ごみに対する意識やルール・分別マナーの向上とともに正しい回収日の認知が必要だ。区は、ここ3年、リーフレットの全戸配布をしていない。誰にでも分りやすいリーフレットの全戸配布が欠かせないのではないか」

区：「リーフレットは今年度全戸数の4分の1に配布した。今後、新しい取り組みや回収日の変更など、大きな変更がある時は全戸に配布する」

佐野：「全戸配布で経費増になる分は他区のように広告収入でカバーしたらどうか」

区：「今後充分に検討する」

いずれにしても、中野区が抱える諸問題について、皆さんと共に解決に向けて知恵を出し合い、汗をかき、区独自の施策を考えることが大切では無いでしょうか！

尚、質問の詳細に関しては私のWEBサイトをご覧ください。

佐野れいじオフィシャルWEBサイト

<http://www.sanoreiji.jp/>

